

学校関係者評価委員 評価書

平成 28 年度

国際音楽エンタテインメント専門学校

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標
2. 学校運営
3. 教育活動
4. 学修成果
5. 学生支援
6. 教育環境
7. 学生募集活動
8. 財務状況
9. 法令等遵守
10. 社会貢献・地域貢献

1. 教育理念・目標

【評価基準】

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

【評価結果】

(1) 学校関係者評価委員/自己 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	委員会	自己
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4	4
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4	3
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3	4
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4	4

(2) 現状

当校では以下の教育理念、教育目標を掲げ、人材育成を行っている。また、これらの教育理念、教育目標のもと、各学科において学科教育目標が定められている。

【教育理念】

全学生のプロデビュー・プロ活動・専門職就職を実現することにより、
「教育実績・学生満足度・社会貢献」日本一である音楽系専門学校を目指す。

【教育目標】

- ①学生のプロデビュー・プロ活動・就職のサポートを、客観的に行うことが出来る校内システムを確立する。
- ②多くの才能を獲得し、次世代の才能の輩出に繋げられるよう、より戦略的な学生募集活動を実現させる。
- ③教務力の飛躍的な向上を目指した、動機付け・講習・研修・勉強会を継続的に実施していく。
- ④地域に密着したイベント出演やインターンシップを通して、学生の実力向上と社会貢献を目指す。
- ⑤「教育の世界標準到達」を実現させ、海外でのデビューや就職を目指す。

(3) 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる

- ・ 実習中心のカリキュラムを編成し、卒業後の即戦力となる人材育成を行っている。
- ・ 企業等と連携したインターンシップ等の職業実践型授業や、本校と連動して運営を行っている、株式会社柳都アーティストファームと連携した企画運営型授業を行っている。
- ・ 卒業後の幅広い進路選択も可能となるよう、ビジネス科目の習得や、資格取得に取り組んでいる。
- ・ 豊かな人間性を養うために地域行事への参加や、ボランティア活動などを実施している。
- ・ 国際的な視野を養うため、海外研修を必修化している。
- ・ 教育理念や教育目標は「学生の手引き」に記載し学生に周知し、新入生オリエンテーションにて周知している。また、保護者には保護者会にて周知を図り、欠席者に対しては資料を送付し周知を図っている。

(4) 課題と改善策など（学校関係者評価委員でのコメント）

本年度も毎週のように著名な音楽関係者をお招きして、特別授業を行った。その際、多くの学生たちがゲスト講師と名刺交換を行い、人脈作りに努めていた。学生の名刺を作り、このような場を設定することは他の専門学校にも無いようで、ほとんどのゲスト講師から感心される。

また、必要以上にマナーやルールに厳しい姿勢を貫いている学校スタンスは良いことだと思う。

2. 学校運営

【評価基準】

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

【評価結果】

(1) 学校関係者評価委員/自己 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	委員会	自己
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	3	3
人事、給与に関する規定等は整備されているか	3	4
業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4

(1) 現状

- 運営方針は部門長によって作成されるビジョンシートに明記され、全教職員に周知される。
- 学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- 校内においては職員会議を定期的で開催し、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意志決定を効率的に行っている。
- 人事、給与については法人の就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- 教務・財務等の組織整備など、法人全体の重要事項については、理事会・評議委員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、不定期に発生する法人全体に関わる重要事項についても、理事会・評議委員会を開催して意志決定がなされている。
- 教育活動等については当校 Web サイト等により情報公開に努めている。

- 情報システムとしては、学籍管理システム、財務会計システム、予算検討システム、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により効率的に運用されている。

(2) 課題と改善策ほか（学校関係者評価委員でのコメント）

特になし。

3. 教育活動

【評価基準】

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか

【評価結果】

(1) 学校関係者評価委員/自己 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	委員会	自己
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4	4
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	3	3
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	2
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3	4
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3
職員の能力開発のための研修などが行われているか	3	3

(1) 現状

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科長を中心に策定される。
- 実践的な職業教育として、企業と連携したインターンシップ等の職業実践型授業や付帯事業と連携した企画運営型授業を行っている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生に対して授業アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。
- 資格取得についてはカリキュラムの課程認定を進めることで体系的に位置づけ取得しやすい体制を整備している。

(2) 課題と改善策など（学校関係者評価委員でのコメント）

専門性の高い学校であり、評価が難しい。だからこそ、評価に対する基準をもっと詳細にした方が良いのではないか。

多くの非常勤講師が業界でトップクラスの人材であり、その授業を受けられることに価値がある。時に、本年度より毎月お越し頂いている鶴谷智生氏は、紅白歌合戦やFNS歌謡祭でもドラマーとして演奏される方で、学校全体が大きな刺激になっていることが伺える。

4. 学修成果

【評価基準】

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善にかつようされているか

【評価結果】

(1) 学校関係者評価委員/自己 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	委員会	自己
就職率の向上が図られているか	3	4
資格取得率の向上が図られているか	3	3
退学率の低減が図られているか	3	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	2
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3

(1) 現状

- 就職部長を配置し、法人の関連部署、ハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
- キャリア教育として、業界関係者、業界で活躍する卒業生等による講演を毎年開催している。また、就職に向けた動機付けや業界研究等を行う宿泊型の研修も毎年実施している。
- 健康上の理由や精神的な理由による欠席等、学生の状況については、月例の職員会議で学科長・担任からの報告により把握、共有される。また、学科主任による学科運営に併せて、学年ごとに学年担任を設置しており、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施し、退学率の低減に努めている。

(2) 課題と改善策など（学校関係者評価委員でのコメント）

学生の卒業生の動向についての把握の把握が十分にできているとは言えない。特にプロのアーティストを目指す学生で、卒業後も継続して活動をする場合の状況把握が不十分である。この点は、卒業後も引き続きオーディション等の情報を発信し、継続的な活動支援を行うことで、把握していく。

5. 学生支援

【評価基準】

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

【評価結果】

(1) 学校関係者評価委員/自己 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	委員会	自己
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3	2
保護者と適切に連携しているか	3	3
卒業生への支援体制はあるか	2	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	2
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	3

(1) 現状

- 進路・就職相談について、主に学科主任が窓口となり、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。また、学年ごとに学年担任を設置しており、進路・就職相談のみならず、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施している。
- 課外活動については、一定の基準を満たした団体について、学校公認のクラブ活動と認定し、活動費の補助等の支援を行っている。
- 保護者会を毎年2回ずつ開催している。希望者には学科主任との個別面談を実施し、保護

者との連携を図っている。

- 卒業生に対しては校友会を通じて求人情報等の各種情報を提供している。また、卒業生がスキルアップを図ることができる講座を付帯事業として実施している。

(2) 課題と改善策など（学校関係者評価委員でのコメント）

保護者アンケートの結果では満足度が高かったが、これを下げないためにも更なる保護者との連携が必要であろう。

また、就職はもちろん離職防止のために卒業生とも定期的に連絡をとるようにしている。当面の課題としてはモチベーションの低い学生に対する指導が上げられた。

6. 教育環境

【評価基準】

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

【評価結果】

(1) 学校関係者評価委員/自己 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	委員会	自己
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	4
防災に対する体制は整備されているか	3	4

(1) 現状

- 校内設備は、業界標準のものを整備し、バージョンアップさせながら、常に最新の状態を維持できるよう、心がけている。
- 法人が所有する研修施設において、新入生オリエンテーション、就職研修を宿泊研修として実施している。
- 当校では教育目標の達成のために、インターンシップ、海外研修ともに必修科目としており、インターンシップ、海外研修ともに受入先と連携して研修が進められるよう教育体制が整備されている。

(2) 課題と改善策など（学校関係者評価委員でのコメント）

特になし。

7. 学生募集活動

【評価基準】

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

【評価結果】

(1) 学校関係者評価委員/自己 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	委員会	評価
学生募集活動は適正に行われているか	3	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
学納金は妥当なものとなっているか	3	3

(1) 現状

- 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また、学校説明会を年間通して継続開催し、当校に対する理解を深めてもらっている。
- 卒業生の進路状況や各種資格検定取得状況等の教育成果は、パンフレットや Web サイトへの掲載によって公開されている。

(2) 課題と改善策など（学校関係者評価委員でのコメント）

本校では学校説明会自体もイベントであり、学生にとって現場を学べる機会である。大いに活用して欲しいと思う。

8. 財務

【評価基準】

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

【評価結果】

(1) 学校関係者評価委員/自己 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	委員会	自己
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	3
財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
財務情報公開の体制整備はできているか	3	3

(1) 現状

- 学校の財政基盤は安定しており、特段の問題は今後もない。

(2) 課題と改善策など（学校関係者評価委員でのコメント）

特になし。

9. 法令等遵守

【評価基準】

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

【評価結果】

(1) 学校関係者評価委員/自己 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	委員会	自己
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	3	3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	3
自己評価結果を公開しているか	3	3

(1) 現状

- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。
- 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部で窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。
- 教職員へのアンケート等も踏まえた自己評価を実施し、問題点については順次改善に取り組んでいる。

(2) 課題と改善策など（学校関係者評価委員でのコメント）

特になし。

10.社会貢献・地域貢献

【評価基準】

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

【評価結果】

(1) 学校関係者評価委員/自己 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	委員会	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3	3

(1) 現状

- 地元商店街イベントへの参加、地域のイベントでのボランティア等を、出演者としても製作者としても行っている。
- ボランティア活動については単位として認め、積極的な参加を支援している。

(2) 課題と改善策など(学校関係者評価委員でのコメント)

大小合わせると、年間 100 を超える歌唱・演奏イベントへの参加、および音響・照明の手配などは大いに評価すべきである。また、安全が確認された後、国内研修旅行として被災地を訪れ、ボランティアを行うなど、非常に評価すべき点が多い。

以上

平成 28 年度第 1 回 学校関係者評価委員会 平成 28 年 8 月 23 日 (火) 午後 4 時～

国際音楽エンタテインメント専門学校 第 1 ミーティングルーム

出席者：国際音楽エンタテインメント専門学校

田中 良 (学校長)

山本 雄太 (教務部長)

田中 史歩 (事務局)

石崎 紀子 (事務局)

: 音響 (フリーランス)

荻原 政之

: 作曲家 (フリーランス)

山崎 亮

: 株式会社柳都アーティストファーム

松本 和良

: 卒業生

佐藤 和音

杉本 千尋

永島 麻耶

大野 知世